

米原歴史文化街道

米原市の歴史・文化財を歩く

149

曳山の幕の修理

―米原曳山まつり―

三基の曳山勢ぞろい

今年の「米原曳山まつり」は、令和元年という新しい時代の幕開けにふさわしく、壽山、旭山、松翁山の全三基による子ども歌舞伎が執行されました。

米原の曳山まつりは、鎮守湯谷神社の祭礼として長浜の曳山まつりを見習って、江戸時代の後半ごろに始まったといわれています。『改訂近江国坂田郡志』には「明和七年（一七七〇）、三輛の曳山を造り、祭日に児童をして狂言を演ぜしむ」という記述があります。

曳山の年代や構造は長浜の曳山に二歩譲りますが、各町の子も役者が演ずる芸においては、決してひけをとらず、古来「山を見るなら長浜、芸を見るなら米原」といわれています。米原曳山まつりのよさの一つは、各山組の若連中が、いなせな半被姿で曳山を曳行することであり、宵宮には米原駅の西側へ跨線橋を越えて曳行し、その夜は、東側へ戻り湯谷神社への急な坂道を囃子に合わせて登っていきます。米原曳山まつりの最大の見せ場です。

曳山の修理

松翁山組の曳山は、舞台は向唐破風造で両側に千鳥破風を付け、正面唐破風上には金箔押の獅子頭、千鳥破風上には鳥禽付鬼板を据え付けています。

建造年代は不明ですが、伝承では江戸末期に藤岡和泉が長浜の翁山を模して製作したといわれています。見送り幕は中国製の綴れ織りで、数十人の唐子がたこ揚げなどの遊びをしている逸品です。山車の各所に腐朽や破損、漆や金箔の剥落がみられたため、部材の再利用を優先しながら、元の形や工法を踏襲して修理が行われました。

壽山組の舞台は向唐破風造で両側に千鳥破風を付け、正面唐破風上には金箔押の獅子頭、千鳥破風上には鯨付の鬼板を据え付けています。舞台屋根裏に「明治四年 米原寿山 長浜伊部町藤岡」の木札が打ち付けてあり、長浜の曳山を多く建造した藤岡家の作であることが分かります。壽山では、左右の胴幕と前後の花道幕の復元的新調が行われました。胴幕はアラベスク風割付文様を捺染（のりを混ぜた染料を直接すり付ける

技法）した毛氈が用いられています。一九世紀前半のもので、オランダのアムステルダム製の可能性があります。当時の製作技法はすでに失われていることから、刺繍に替えて復元され、元の華麗な表現に仕上がりました。

旭山組の舞台は切妻造で両側に千鳥破風を付け、棟端の鬼板枠内に「旭」の金文字を浮き出させています。棟木に「奉成就八幡宮 御山一輛、宝曆拾（一七六〇）庚九月吉辰 大工藤岡重兵衛作之神戸町」の墨書があり、長浜神戸町の曳山として作られたものが、後に米原に移されたことが分かりました。側面の胴幕には、獅子と牡丹図が刺繍されていますが、長年の経過から、全体に退色と糸切れがみられ、追加の繕いや補修の刺繍が行われて堅牢な幕に仕上がりました。

（歴史文化財保護課）



▲旭山胴幕



▲壽山胴幕

消費生活相談コーナー

ふすまの張り替えを頼むときは…

新聞に折り込まれた「ふすまの張り替え1,400円から」のチラシを見て業者に来てもらったが、いろいろと見本を見せられ、結局高価な作業を頼んでしまった…



消費生活相談員より一言

契約前に金額の根拠を確認し、複数社から見積もりを取りましょう。また、ふすまの種類や、片面・両面張り替えで料金は変わります。十分に確認しましょう。

「おかしいな」と思ったら
一人で悩まず、
まずは消費生活相談窓口へ
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口（米原庁舎）

相談専用 ☎52-8088

（受付）平日9時30分～16時



【米原警察署情報】 米原警察署 ☎52-0110

暴力団追放「三ない運動+1」

暴力団を利用しない、恐れない、
金を出さない、交際しない



「暴力団追放 三ない運動+1」とは、暴力団を追い出し明るいまちを作るための合言葉です。

警察では、暴力団の取り締まりを進めていますが、暴力団壊滅には、市民のみなさんの協力が必要です。暴力団等の違法な活動を見聞きした場合は勇気を持って通報いただき、万が一被害に遭った際は必ず届け出てください。暴力団に関する情報・相談は米原警察署まで。



令和元年市内交通事故数（9月末時点）

件数 72件（-1件）、死者 2人（+2人）

傷者 95人（-1人）

※（ ）内は前年比